



おおぞら

【学校教育目標】

「笑顔輝く高階北小学校の子供の育成」

- ・たすけあう子
- ・かんがえる子
- ・きたえる子



ありがとうをいっぱい

校長 堀口 雪子

1年生のあさがおが咲き始めました。「今日は3つも咲いていたよ。」と嬉しそうに教えてくれます。2年生の野菜の苗も育ち、実がなっています。毎日「明日が楽しみだね。」と声をかけながら水やりをしている姿がとてもほほえましいです。

7月に入り、1学期終了も間近です。誰にとっても気持ちよくまとめができるよう、本日のお話朝会では、こんな話をしました。

私たちは皆、得意なこともあれば、苦手なこともあります。学校生活の中で、鉄棒のこつを教え合ったり、算数の問題を教え合ったりする姿を見かけます。子供たちは得意なことは自分のためだけでなく、友達のために役立てています。苦手なことは、自分の力で頑張ることも大切ですが、教えてもらったり手伝ってもらったりしています。これが「助け合い」だと思います。一人一人が自分のよさを発揮し合うことで、お互い助け合うことになるのです。

そして、みんなのためや自分のためにやってくれていることは、決して当たり前のことではないと言うことです。「鉛筆を拾ってくれた。」「一緒に遊ぼうって誘ってくれた。」「給食当番で給食を配膳してくれた。」どれも、ありがたいことなのです。私たちの周りには普段は当たり前のように見過ごしてしまいがちですが、ありがたいことであふれているのです。だから、私たちは「ありがとう」と言いたくなるのです。

4年生のアンケートから、「ありがとうの言葉のよさ」は「自分も相手も温かい気持ちになる。」「元気になる」「次もよいことをしようという気持ちになる。」などがありました。ありがとうの言葉があふれると、どんなに心地よい居場所となることでしょう。助け合い、ありがとうの言葉をたくさん使い、自分も相手も大切にすあたたかい高階北小にしていきましょう。という話をしました。

私たちは人とのつながりの中で生活しています。子供たちには、多くの人と助け合う中でやってもらうことは、「当たり前なのではなく、ありがたいことである。」を実感してほしいのです。そのためにも、私たち大人ができることは、たくさんの「ありがとう」で子供たちに幸せ体験をたくさん積み重ねさせることだと思います。子供たちに「ありがとう」のシャワーを浴びさせましょう。

4年生 自転車免許教室

6/28 に4年生が自転車免許教室に臨みました。事前に自転車の安全な乗り方についてビデオを見て学習し、当日は実技試験を行いました。大きな声で確かめの声を出し、安全に止まったり発進したりしないと合格できません。どの子も真剣に取り組みました。合格者には自転車免許証が発行されました。

放課後や夏休みなど、自転車に乗るときにはここで学んだこと「ブタベルサハラ」を思い出し、安全に乗りましょう。

学校では、1・2年生の歩行、4年生の自転車の乗り方と学年に応じて交通安全教室を実施していきます。

6年生 バasketボール大会

6/9 に6年生が高階小と親善Basketボール大会を行いました。たくさんの練習を積み重ね、当日を迎えました。朝は壮行会が行われ、5年生からエールをもらいました。試合では、ドリブルで進む子やパスをつなぐ子、シュートを決める子、声がかかるほど応援する子など、自分のよさを思う存分発揮していました。また、よいプレーには自分も相手のチームにも拍手をする姿もあり、すがすがしさを感じました。チームワークや自分の役割を果たすことなどこの大会を通して身に付けた力がたくさんありました。

保護者の皆さまの応援も力になりました。ありがとうございました。

学校応援団が動き出しました

「地域と共に子供を育てる高階北小」を合い言葉に学校応援団の活動が始まりました。

5年生の家庭科では各グループに付いていただき、玉どめや玉結びなど見ていただきました。3年生のリコーダーでは、音が出ているか、タンギングができているか一人一人見ていただきました。美化集会では、環境整備の応援団と子供たちで共に除草活動に取り組みました。きたしかクラブやクラブ活動でも、応援団の方々のご自分の得意な分野で児童と共に活動したり支援していただいたりしました。

7月には、水泳や算数で支援をしていただく予定です。

「応援団の方々に教わってできるようになって嬉しかったです。」という児童の声や「子供たちと関わるのが楽しみの1つになりました。」という応援団の声が聞かれ、学校にも地域にもよさを実感する活動が行われていることがとても嬉しいです。



人権標語

5年生全員で取り組み、学校代表として2名の作品を出品しました。

「ありがとう」その一言で みな晴れる

どんなこと なやんでいるの きかせてね

